

# 地 域 計 画 書

## ～ 森 地 区 将 来 計 画 ～



松阪市住民協議会『森を考える会』

HPアドレス : <http://www.ma.mctv.ne.jp/~morikan/>

平成 28 年 5 月

## もくじ

|                        |        |
|------------------------|--------|
| ごあいさつ . . . . .        | 1      |
| 1 地域の概要 . . . . .      | 2 ～ 3  |
| 2 森を考える会について . . . . . | 4 ～ 5  |
| 会の成り立ち                 |        |
| 「文化部会」                 |        |
| 「運動部会」                 |        |
| 「研究部会」                 |        |
| 「福祉部会」                 |        |
| 「広報部会」                 |        |
| 3 地域の課題 . . . . .      | 6      |
| 4 地域のこれから . . . . .    | 7      |
| 5 具体的な計画 . . . . .     | 8 ～ 10 |

## ごあいさつ

私達「森を考える会」は昭和60年に、当時の飯高町役場森支所の支所長が、岩手県田野畑村が実施していた住民協議会の先駆けとなる活動をテレビで見た事をきっかけに、「自分たちの地域は自分たちで考える」という理念を持って設立されました。

住民協議会としての設立総会は、平成19年に開催されましたが、会としては実に30年の歴史があります。

「文化部会」「運動部会」「研究部会」「福祉部会」「広報部会」の5つの部会を作り、各部会ごとに特色ある活動をしています。

私達が暮らす森地域は、標高1,000m級の山々に囲まれた山間地域で、面積の96.0%を山林が占めています。全国各地の山間地域と同じく少子高齢化が深刻な悩みとなっています。森地区出身者がUターンしたいと思っても、また移住して田舎で子育てをしたい人がいても、働く場が無い為に若い世代は都市部で生活するしか無いのが現状です。

今後、森地区の人口は、さらに減少し、高齢化が進んでいくことが予想されます。しかし、これまで培ってきた住民同士の信頼関係や絆で、危機を乗り越えることができるはずだと私は確信しています。

森を考える会では、平成24年度に地域計画を策定していますが、この度、森を考える会設立当初の理念を鑑みて地域の現状に合わせた新しい地域計画を策定することといたしました。

これからも、森を考える会では行政や地域の各団体と連携しながら新しい計画に則って地区の皆さんの為に活動していきたいと考えています。

平成28年3月

松阪市住民協議会

森を考える会 会長 湯谷國秀

## 1 地域の概要

私達が暮らす森地域は、昭和31年、森村、宮前村、川俣村、波瀬村が対等合併してできた「飯高町」のほぼ真ん中に位置し、新町の発展と共に地域も発展してきました。

地域には、国道166号線の支脈、県道蓮峡線・市道青田線が走り、道に沿って流れる蓮川・青田川が本流の櫛田川に注いでいます。面積の96.0%以上を山林が占め、林業を主産業として発展してきました。



飯高町の施策であった観光開発事業として、県立公園奥香肌峡の観光資源を活かした町づくりの為、塩ヶ瀬地区へ国民保養センター「奥香肌荘」が建設されました。奥香肌荘は、趣ある大浴場、郷土の食材を利用した食事で多くの観光客を誘致し、県下でも有名施設となり、地域の雇用促進に大きく貢献しました。

その後は、都市との交流事業として平成4年に都市交流センター「スメール」がオープン、平成7年には第三セクター方式を取り入れた「ホテルスメール」がオープンしました。施設の周辺には「健康の森パターゴルフ場」が建設され、ホテルスメールの温泉と共に飯高町の観光施設として発展してきました。



森地域にとって最大の国家事業は宇藤木地域に「蓮ダム」が建設された事です。蓮ダムの建設について計画が出され、用地交渉や工事に係る建設地調査、そして本体工事と長い年月をかけて多目的ダム「蓮ダム」が完成しました。昭和46年の実施調査以来、実に20年の歳月をかけて完成した蓮ダムは、平成28年に竣工から25周年を迎えます。

蓮ダム建設に際し、非水没地域の青田・猿山・蓮地域の住民の大半が集団移転で森地区内に定住し、「森地域」の住民として共に歩んできました。また、地域と行政の間で何度も協議を重ねた事で、

協力関係が築かれました。

蓮ダムの完成後、ダムと地域の関わり方について考える「水源地ビジョン」について組織を作り、関係者間で協議を重ね、数々の事業に取り組んできました。



地域の医療福祉施設につきましては、昭和58年4月、飯高保健センターが森診療所を併設して建設され、自治医大から多くの医師が派遣されてきました。平成6年頃には、地域医療に尽される、という信条のもとに中村昌嗣医師が院長に就任されました。以来、安心して診療が受けられる、と地域の信頼も厚く、地域の医療に貢献・尽力していただいています。

## 2 森を考える会について

### 《会の成り立ち》

松阪市住民協議会「森を考える会」は、平成19年に設立総会を開催し、住民協議会として歩み始めました。住民協議会としては、9年目を迎えておりますが、昭和60年に森地区の住民たちが、自分たちで地域のことを考え、自分たちでできる事にチャレンジしてこうと「森を考える会」を立ち上げましたので、会としては、実に30年の歴史があります。この長い歴史の中で、皆が支え合い助け合う地域づくりに取り組んできました。

現在も、「森地区住民の発展意欲と連携感をもとに『自分たちの地域は自分たちでつくる』という意識を持って、心豊かで住みよい活力のある地域づくりを推進する」という目的・理念を持って活動しています。

「森を考える会」は、37年という長い歴史の中で、地域の環境整備やまつり等で住民同士の絆を深めてきました。「文化部会」・「運動部会」・「研究部会」・「福祉部会」・「広報部会」の5つの部会を作り、各部会ごとに特色ある活動をしています。

### 【文化部会】

文化部会では、毎年恒例の「香肌峡もり夏まつり」で地域の皆さんのみならず、帰省されている子供さんやお孫さんにも楽しんでいただいています。

また、伝統文化継承事業としての「どんどまつり」も毎年実施しています。役員さん達が準備した立派な左儀長に、地域の発展と住民の幸せを祈念して火をつけます。



平成26年度からは、地域の高齢者を招いて敬老会を開催しています。

記念すべき第1回目の敬

老会は、ホテルスメールで開催され、参加された皆さんは大いに笑い、歌い、楽しい時間を過ごされました。





## 【運動部会】

「香肌峡もり夏まつり」昼の部として開催される「こどもあまごつかみ大会」は、毎年数百人の参加者があり、普段は静かな香肌峡に子供たちの歓声が響きわたります。また、健康づくり



事業として森 A・F 会と連携して開催される「ふれあいパターゴルフ大会」では、地域の高齢者の元気にいつも驚かされます。



## 【研究部会】



住民協議会活動の先進地などを視察し、自分たちの活動の参考とするため、熱心に研修に取り組んでいます。また、木場公園の利用促進や、ホテルスメールとの連携についても議論を重ねています。

この度地域計画を新たに策定するにあたり、地域の課題やこれからの姿について熱心に話し合いをしてきました。

## 【福祉部会】

平成 27 年度に森地区福祉会と統合しました。これまで、森地区福祉会と合同で実施していた、グラウンドゴルフ大会や福祉講演会などの事業を引き継いで実施しています。

また、配食サービスや子育て支援サークルへの支援も行っています。



## 【広報部会】

年に 2 回広報紙「雑草」を発刊し、地域のニュースや関係各所からのお知らせを皆さんにお届けしています。

また、平成 25 年度にはホームページを立ち上げ、会の活動を全国へ発信しています。



## 地域の課題について

私たちが暮らす森地区を含め、飯高町では、深刻な少子高齢化に悩んでいます。平成20年4月には、波瀬・森・川俣の3小学校が統合され「香肌小学校」となりましたが、平成27年度末で全校生徒21名と、たいへん少人数の学校になってしまいました。平成28年4月には地域の中学校、飯高西中学校は「飯高中学校」に統合され、かはだ保育園は休園となりました。かつて、山々に響きわたっていた子供たちの声は、今はもう聞こえません。

地区内では、70歳以上の割合が40%を超えています。今は元気な人が多い地区ですが、今後さらに高齢化が進むと、地区役員のなり手がなくなり、会の存続が危ぶまれる事も考えられます。

また、国道の改良が進み、道路は通りやすくなっていますが、市内の病院へ通院するには1時間ほどかかります。地区内には、診療所があり、地域の医療に貢献・尽力していただいておりますが、緊急を要する場合や、重大な疾病の際には時間をかけて通院するしかない状況です。

松阪市では、空き家バンク事業を進め、移住促進に力を入れ始めています。若い世代の移住が進めば、少子化に歯止めをかける事も可能になるのではないかと期待をしているところではありますが、子育て世代の移住促進には、雇用の場が不可欠です。しかし、現状を見てみますと、若者の田舎離れが進み始めて長い時が過ぎ、働く場があっても働き手がいらない、働き手がいらない為、働く場が無くなっていく、という悪循環に陥っています。平成28年4月リニューアルオープンした「ホテルスメール」が新たな雇用の場となり、地域に若者を招くきっかけになってくれる事を期待しています。



## 地域のこれからについて

今後、森地区だけでなく、飯高町、松阪市はさらに高齢化が進んでいく事が予想されます。黙って見ているだけでは、飯高地域はどんどん寂しくなり暮らしている人の笑顔も無くなっていくことと思います。私たち森を考える会の「森地区住民の発展意欲と連携感をもとに『自分たちの地域は自分たちでつくる』という意識を持って、心豊かで住みよい活力のある地域づくりを推進する」という目的・理念のため、これまで以上にお互いの結びつきを大切にし、住民が笑顔で暮らせる地域づくりを推進していきます。

平成28年4月リニューアルオープンした「ホテルスメール」とは、対外的な情報発信の面や、地域雇用の創出、地域の特産品の発見などで、お互いに協力しながら連帯を強めていきたいと考えています。宿泊客が参加できるようなイベントを実施し、都市部から来られた人と地元の住民との交流の場を作り出し、この地域の魅力を知ってもらおうと共に自分たちでも再発見する機会としたいと考えています。

地域で作った野菜や米を宿泊客の食事に利用してもらうことで、農業者のやり甲斐につながり、農家の育成へとつながることを期待しています。農家の規模が大きくなり、雇用が生み出されることで、田舎で子育てをしたい、農業がしたい、という若者の移住が期待できます。移住希望者が空き家バンクを利用することで、空き家が減り、人口が増え、地域に活力が戻ってくるのではないのでしょうか。

ふるさと応援寄付金を活用して、現在は塩ヶ瀬地区の環境整備事業を地区で実施してもらっています。他に、住民の安全を守る防犯灯の設置事業を実施してきました。これからも、防犯灯のメンテナンスなど住民の安全を守る事業に活用していきます。

私たち「森を考える会」は、

- 笑顔あふれる地域を目指します。
- 住民の生きがいを大切にします。
- 安全で安心して暮らせる地域を目指します。
- 自分たちの地域は自分たちが創ることを目指します。

## 具体的な事業計画について

### ★研究部会

| 事業名          | 事業内容                                     | 主体 | スパン | 期間                 | 備考                           |
|--------------|------------------------------------------|----|-----|--------------------|------------------------------|
| 先進地視察        | 地域づくりに力を入れている団体、地区などを訪問、自分たちの活動に生かす。     | 自主 | 短期  | H28～<br>継続         |                              |
| 木場公園の利用促進    | 木場公園を地区内外の人に広く知ってもらい、活用してもらえるように、PRしていく。 | 協働 | 長期  | H28～<br>継続         | 蓮ダム<br>松阪市役所<br>スメール<br>広報部会 |
| 空き家バンク事業の促進  | 空き家の所有者に働きかけて、バンクへの物件登録が増えるようにPRしていく。    | 協働 | 長期  | H28～<br>(新規)<br>継続 | 松阪市役所                        |
| ふるさと応援寄付金の活用 | ふるさと応援寄付金の活用についての協議。<br>自主財源の確保を目指した協議。  | 協働 | 長期  | H28～<br>(新規)<br>継続 | 松阪市役所                        |

### ★文化部会

| 事業名           | 事業内容                                   | 主体 | スパン | 期間         | 備考                       |
|---------------|----------------------------------------|----|-----|------------|--------------------------|
| 香肌峡<br>もり夏まつり | 地区の住民、帰省客などが楽しめる祭り。伝統的な盆おどりの継承。        | 協働 | 短期  | H28～<br>継続 | 地区内団体<br>スメール            |
| 敬老事業          | 地区内の高齢者を対象とした敬老事業。<br>敬老会の開催、記念品の配付など。 | 協働 | 短期  | H28～<br>継続 | A F 会<br>民生委員<br>市の助成金利用 |
| どんどまつり        | 伝統文化継承事業。<br>左義長を立て、祈祷、ぜんざい等のふるまい。     | 自主 | 短期  | H28～<br>継続 |                          |

# ★運動部会

| 事業名           | 事業内容                                               | 主体 | スパン | 期間                 | 備考                     |
|---------------|----------------------------------------------------|----|-----|--------------------|------------------------|
| 香肌峡<br>もり夏まつり | 地区の住民、帰省客などが楽しめる祭り。子供を対象とした魚つかみ大会の実施。              | 協働 | 短期  | H28～<br>継続         | 地区内団体<br>スメール          |
| 環境整備事業        | もり公園、向久谷土手の草刈り、剪定作業。                               | 自主 | 短期  | H28～<br>継続         |                        |
| 健康<br>ウォーキング  | 地区内外、スメール宿泊客などを対象としたウォーキングイベント。豊かな自然とふれあいながら交流を持つ。 | 協働 | 短期  | H28～<br>(新規)<br>継続 | 地区内団体<br>スメール<br>松阪市役所 |
| 地域防災          | 各自主防災組織、消防団等と連携し、災害に強い地域を目指す。                      | 協働 | 長期  | H28～<br>(新規)<br>継続 | 自主防災組織<br>消防団<br>松阪市役所 |

# ★福祉部会

| 事業名           | 事業内容                                                                                                | 主体 | スパン | 期間         | 備考                                  |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------|-------------------------------------|
| 健康づくり<br>推進事業 | 料理教室、診療所医師による講演会、グランドゴルフ大会など。<br>自分の健康を守るための知識と意識を培う。                                               | 協働 | 短期  | H28～<br>継続 | 森診療所<br>地域事業所                       |
| 見守り事業         | 高齢者対象の配食サービスや定期的な安否確認。民生委員による声かけ。交通安全の呼びかけ。スピード超過になりがちな道路で安全運転を呼びかける。<br>災害時、高齢者が安心して過ごせる避難所運営に努める。 | 協働 | 長期  | H28～<br>継続 | 配食ボランティア<br>民生委員<br>松阪市役所<br>自主防災組織 |

★広報部会

| 事業名            | 事業内容                                              | 主体 | スパン | 期間             | 備考              |
|----------------|---------------------------------------------------|----|-----|----------------|-----------------|
| 広報誌発行          | 「雑草」の発行。年に2回発行。地区のできごとやお知らせ。<br>住民から寄せられた意見などを掲載。 | 自主 | 短期  | H28～<br><br>継続 |                 |
| ホームページ<br>管理事業 | ホームページによる情報発信。行事の案内、報告など。リンクなどで他の住民協議会や、市役所との連携。  | 協働 | 長期  | H28～<br><br>継続 | 他住民協議会<br>松阪市役所 |